

七月読みとりおけいこ⑥中学年

名前 ()

今年の土用の丑の日は七月二十八日です。ということ
で、今日は土用の丑の話をしてみましょう。

今のようにウナギをかばやきにするようになったのは
元禄時代（一六八八～一七〇四）のことだそうです。そ
して、安永・天明年間（一七七二～一七八九）には、江
戸の町民の間で土用の丑の日にウナギを食べる習慣が
はじまつたのだそうです。

もつとも、奈良時代には大伴家持（おおとものかわら）という人が「夏やせ

にはウナギを食べるといい」と歌によんでいます。

江戸時代にベストセラーになつた『養生訓』（ようじょうくん）という本
の作者、貝原益軒（かいばらえきせん）はこの歌を引用したうえで、ウナギが
夏におすすめの食材であることをつたえています。

当時の江戸では健康ブームがわきおこり、「腹八分目を
心がける」「旬のものを食べる」ということがいきわた
つていたようです。

「本日土用丑ノ日」というはり紙を平賀源内（ひらがげんない）がウナギ
やさんの店先にはつたという説もありますし、江戸・神
田のウナギ屋・春木屋善兵衛（はるきやせんべえ）が丑の日に食べるようにつ
すめたという説もあり、本当のところはわかりません。

しかし、古くからウナギは体によい食べ物だと思われ
ていたことはたしかです。

しかし、ちかごろニホンウナギはピンチなのです。

少し前まで河口（かこう）にうじやうじやいたシラスウナギ（ウナ
ギの子）がほとんどなくなつたのです。とりすぎや温ぬる
化（か）のえいきょうといわれています。このままでは絶滅し
てしまうのではないかと心配する人もいます。みなさんもそ
のあたり、調べてみては？

音読サイン→

- ① 何の話ですか？ ()
- ② 土用の丑の日には何を食べるといいと考えられたのですか？ ()
- ③ 土用の丑にウナギ、といわれはじめたのはいつですか？ ()
- ④ 奈良時代にウナギをすすめた人はだれですか？ ()
- ⑤ 貝原益軒のベストセラーは何という本ですか？ ()
- ⑥ 江戸時代の健康ブームでいきわたつたことを二つあげましょう。 ()
- ⑦ 土用の丑のはり紙をしたらしいといわれる人はだれですか？ ()
- ⑧ あつている文に○をつけましょう。 ()
- ⑨ 上の文の感想を四行にまとめましょう。 ()



できばえは？